

## 近藤次郎先生のご逝去を悼む

2015年3月29日、近藤次郎先生が御逝去されました。享年98歳でした。近藤先生は、オペレーションズ・リサーチ、航空宇宙工学、環境科学などの分野で教育・研究に多大な業績を残されました。また本学会の1984、1985年度会長を務められました。その他、日本学術会議会長（1985～1994年）、国立公害研究所所長（1980～1985年）、国際科学技術財団理事長（1994～2004年）などの要職も歴任されました。数多い栄誉の中では、2002年に文化勲章を受章されました。本会関連では、1958年の大内賞、1966年のデミング賞を受賞されております。

近藤先生は京都帝国大学数学科をご卒業後の1940年に東京帝国大学航空学科に入学されましたが、先次大戦のため学業の中断を余儀なくされ、終戦直後の1945年9月に同学科をご卒業されました。戦後に教育や研究を含めて航空にかかわる事業が禁じられた中、先生は応用解析学を利用したオペレーションズ・リサーチの教育・研究に先鞭をつけられ、我国における先駆的な役割を果たされました。航空学科の再開後は東京大学教授として航空機の高速化に取り組みました。近藤先生が国産旅客機「YS11」の企画に携わったことはよく知られ、現在開発中の国産ジェット旅客機「MRJ」にも繋がる成果となりました。また大気汚染が顕在化しはじめた初期から環境問題にも取り組み、学術研究の世界的潮流に対する鋭い先見性を発揮されました。

英語ばかりかフランス語にもご堪能だった先生は、科学技術の発展がもたらすグローバルな影響力を強く意識され、海外研究者との積極的交流を自ら率先されておりました。先生のご趣味は飛行機に乗ること、見ること、学ぶこと。目前に迫ったMRJの初飛行を待たずに逝かれたのが残念なばかりです。学生時代に何か問題をご相談した折には「それでは…をORしてみなさい」とおっしゃるのが口癖で、いつも励まされるとともに人間味あふれる魅力を感じました。近藤次郎先生とのお別れは痛惜の極みであります。

(香田正人)



### 故近藤次郎氏略歴

大正6年1月23日	生まれ
昭和15年3月	京都帝国大学理学部数学科卒業
同年4月	東京帝国大学工学部航空学科入学
17年5月	任陸軍航空技術中尉（東京陸軍航空学校附）
20年9月	東京帝国大学第一工学部航空学科卒業
21年8月	同上 講師
22年8月	総理庁統計局技官
29年10月	東京大学工学部助教授
33年2月	同上 工学博士
同年5月	同上 工学部教授
50年4月～52年3月	同上 工学部長併任
52年3月	東京大学退官（名誉教授）
55年2月～60年9月	国立公害研究所所長
60年7月～平成6年7月	日本学術会議会員（第13～15期）、会長
平成6年11月～16年10月	財団法人国際科学技術財団理事長

### OR学会関係

評議員	昭和32～47年度、昭和49～59年度
副会長	昭和41・42年度、昭和47年度
表彰委員長	昭和47年度
研究普及委員長	昭和47年度
フェロー	昭和48年度
IAOR委員長	昭和48・49年度
会長	昭和59・60年度